

希少植物等保全対策検討委員会（第4回）

日 時：令和6年2月9日（金）
14時～16時

場 所：津野町役場西庁舎
（高岡郡津野町力石 2870 番地）

次 第

1 開会

2 議事

- （1）希少植物等の保全に向けた取り組み等について
- （2）四国カルスト県立自然公園施設についてのアンケート（案）について
- （3）その他

3 閉会

資料1 探勝路利用上の安全対策について

資料2 天狗高原における生物多様性の保全と利用に関する課題等（石川委員提出資料）

資料3 四国カルスト県立自然公園についてのアンケート（案）（中澤委員提出資料）

参考資料 希少植物等保全対策検討委員会（第3回）議事概要

探勝路利用上の安全対策について

1 地元関係者の意見

① 案内板（マップ）の設置

- ・交差点に案内板を設置すると景観が悪くなるので設置してほしくない。
設置するとすれば、あまり目立たない見晴台の前がよい。
- ・自然探勝路の各入り口（トンネル側、バリアフリー道、姫鶴平側）に案内板を設置するのは良い。

② 自転車進入禁止等の表示について

- ・徐行の看板を設置してもあまり見ないのではないか。
- ・路面標示は景観が悪くなるので良くない。
- ・看板よりは、路面標示の方が目立たないので、どちらかであれば路面標示が良い。
- ・路面標示の色は白で良い。
- ・一般道路と同じ標識は必要ない。自転車に気をつけてもらうことができる表示で良いのではないか。
- ・停止線の代わりにアスファルトに細く溝を入れる等、物理的に減速できるようにしてはどうか。但し、車イスのタイヤや杖が入りまれないよう溝には植生を生やすまたは木を入れる。

③ その他

- ・派手なものは設置しないでほしい。
- ・自然に馴染まないもの（自然にないもの）は設置しない方がよい。

2 設置（案）

① 案内板の設置（危険箇所、通行方向含む）

案内板は探勝路入り口3箇所に設置する。（交差点付近の案内板は見晴台の前に設置。）

② 自転車進入禁止等の表示について

自転車進入禁止	バリアフリー道利用者の安全確保のため路面に表示する。
自転車に対する徐行を促す	急傾斜を上ってからの緩い傾斜の坂であり、急にスピードが上がる坂ではない。危険の表示をしなくても、停止線が手前から確認できれば、安全を確保できると思われる。
停止線等	歩行者の安全確保のため路面に表示する。

3 今後の予定

令和6年3月 地元関係者などと現地確認
令和6年度 案内板等安全対策の実施

天狗高原における生物多様性の保全と利用に関する課題等

評価軸

	生物多様性の保全			地域振興・観光			景観・カルスト台地の保全		
全ての対応策に共通の課題	・半自然草原の希少性・重要性が理解されていない ・草原管理（火入れ、草刈りなど）の継続的な体制維持が必須（津野町の消防団が担う？） ・希少植物の盗掘防止 ・外来種対策			・半自然草原の観光的価値の評価（半自然草原の自然資源としての価値のうち、観光に資する価値とは何か？） ・自然歩道とアスファルト道路に対する来訪者の評価の比較（歩きやすさ、歩いた時の安らぎや気持ちよさなど） ・Eバイクの評価（天狗高原にはEバイクがあった方がよいかわない方がよいかわ？） ・老人や身体障がい者への配慮と半自然草原の保全とのすり合わせ（折り合いの付け方）			・草原景観の・自然景観にマッチしたシンプルなサイン計画 ・草原のもつ価値のうち景観の価値の評価（心地よい、安らぐ、嬉しい、楽しいなどのプラスの感情を誘発する景観とは？）（生態系サービスの中の文化的サービスにあたる価値の評価） ・自然な遊歩道とアスファルト道路の景観に対する来訪者の評価の比較 ・カルスト地形の保全と復元（ドリーネの修復、捨てられた石灰岩の回収等） ・アスファルト道路（自然探勝路、バリアフリー道路）の建設によって変化した景観の評価		
	メリット （期待される効果など）	デメリット （新たに発生する経費や労力など）	課題	メリット （期待される効果など）	デメリット （新たに発生する経費や労力など）	課題	メリット （期待される効果など）	デメリット （新たに発生する経費や労力など）	課題
現状維持	・新たな経費が発生しない	・破壊された希少植物等の生育地が回復されない	・環境影響緩和措置の検討（新たな草原の創出など）	・Eバイクが使用できる	・本来の半自然草原が回復されない	・アスファルト道路と従来の遊歩道のどちらが好ましいか	？	・工事前の景観が破壊されたままの状態が残る	・アスファルト道と従来の遊歩道のどちらが好ましいか
草原域の拡大復元（代替措置）	・アスファルト道路の建設に伴って失われた草原生植物の生育地を回復することができる	・樹木等の伐採作業と処理および草原を維持するための労力と経費を要する	・草原を復元する場所の選定 ・草原を維持するための労力増大に伴う継続体制の検討	・散策する場所の拡大	？	・遊歩道の新設	・草原域の拡大による好ましい景観の拡大	？	・景観の改良に効果的な草原復元エリアの選定と遊歩道の新設
路側帯の改良	・歩道沿いの明るい立地を好む希少種を保全できる	・経費を要する	・碎石の撤去に伴う舗装の崩壊を防ぐ工事 ・施工場所での希少植物の保全・復元作業	・Eバイクが使用できる ・本来の半自然草原が部分的に回復	・本来の半自然草原の多くが回復されない	・アスファルト道路と従来の遊歩道のどちらが好ましいか ・碎石を敷いた路側帯のある道と碎石のない道のどちらが好ましいか	・碎石を敷いた路側帯に草原の植生が復活し、人工的な景観が部分的に改善する	・アスファルト道路、落下防止柵や石積みが残る	・アスファルト道と従来の遊歩道のどちらが好ましいか
アスファルト道路、落下防止柵の撤去・修正	・半自然草原の生物多様性の回復が期待できる	・経費を要する	・浸食防止工事 ・掘削場所に入れる石灰岩土壌の確保 ・施工場所での希少植物の保全・復元作業	・本来の半自然草原を楽しむことができる	・Eバイクが使用できなくなる	・Eバイクの使用希望の調査	・半自然草原の景観が改善される	・修正の程度によってアスファルト道路、落下防止柵や石積みが残る	・修正後と現状維持の道との景観比較 ・アスファルト道と従来の遊歩道のどちらが好ましいか

●自然公園は、良好な自然を維持していくことが前提であり、その利用も基本的には景観や生態系等の自然資源を損なうおそれのない範囲で行われるべきものである。従って、自然公園の利用を考えるに当たっては、自然の特性や容量の概念を踏まえた『持続的利用』を原則としなければならない。

●自然の中で人間の力を越えた自然の持つ『美しさ』、『偉大さ』、『荘厳さ』、『野生』等を五体五感によって直接的に体験し、感動や喜びを得るといった利用がまず最優先とされる必要がある。

■ アンケート調査の考え方メモ（20240209）

- アンケート調査を設計するにあたっては、その目的の設定が最も重要である。本委員会に置いては「科学的な客観データの収集を行い、それに基づき検討・判断する」ことから、こうした意思決定に寄与するデータ収集が目的となる。
- アンケート調査によるデータ収集については2つのアプローチがあると考えられる。
 - 1つ目は、供用開始した探勝路に関して「生物多様性の保全」「地域振興・観光」「景観・カルスト台地の保全」の観点から利用者の意見（満足度、改善点等）を聴取することである。
 - 2つ目は「天狗高原における生物多様性」に関する人々の環境価値を把握することにある。
- 今回はまず1つ目の利用者の意見（満足度、改善点等）を聴取するものとする。

<ねらい>

問 1 総合的な天狗高原に関する満足度を知人におすすめするかどうかの指標（NPS）で把握。

合わせて理由を聞くことで、ネガティブな要素、ポジティブな要素が1問で確認できる。

問 2 通った道路別（バリアフリー道/探勝路（東側）/探勝路（西側）/その他（未整備））の

4 観点（歩きやすさ、景観、自然とのふれあい、案内などのサイン）からの評価。観点は変更可能。

問 3 利用者の認知度・必要性・ニーズを把握する。

	非常に満足 している	やや満足し ている	どちらとも いえない	あまり満足 していない	全く満足し ていない
歩きやすさ	1	2	3	4	5
景観	1	2	3	4	5
自然とのふれあい	1	2	3	4	5
案内などのサイン	1	2	3	4	5

2-4. 探勝路（西側）を利用された方にお聞きします。

	非常に満足 している	やや満足し ている	どちらとも いえない	あまり満足 していない	全く満足し ていない
歩きやすさ	1	2	3	4	5
景観	1	2	3	4	5
自然とのふれあい	1	2	3	4	5
案内などのサイン	1	2	3	4	5

2-5. 従来の遊歩道を利用された方にお聞きします。

	非常に満足 している	やや満足し ている	どちらとも いえない	あまり満足 していない	全く満足し ていない
歩きやすさ	1	2	3	4	5
景観	1	2	3	4	5
自然とのふれあい	1	2	3	4	5
案内などのサイン	1	2	3	4	5

<個別評価事項>

3. 以下の個別はあなたにどの程度当てはまりますか？

【1. よくあてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない 4. ややあてはまらない 5. 全くあてはまらない】

3-1. 天狗高原のような半自然草原の希少性・重要性について理解している。 【1・2・3・4・5】

3-2. 半自然草原の管理の継続的体制（火入れ、草刈り）が必要である。 【1・2・3・4・5】

3-3. 希少植物の盗掘防止について厳重に取り締まるべきである。 【1・2・3・4・5】

3-4. E-バイクを利用してみたい。 【1・2・3・4・5】

3-5. 高齢者や身体障がい者などへの配慮をもっとするべきである。 【1・2・3・4・5】

<自由記述>